

時間割コード	G1D11726		開講年度	2026			
授業題目	クリティカル・リーディング I 【EA】					担当教員	長谷部 めぐみ
英文授業名	Critical Reading I						
単位数	1	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	再履修生
講義室				授業形態	e-Learning	遠隔授業科目	該当
備考						備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	大学D P						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				⇔	大学での学修の土台となるAcademic Skillsを使えるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	Critical Reading I では、専門課程での学術探究に寄与するAcademic Skills（ Critical Reading & Critical Thinking ）の向上を目指し、多様な内容・スタイルのアカデミックな英語をクリティカルに読み、自分の意見や考えを批評的に述べる力を育成する。 様々なジャンルの英文（雑誌・新聞、文学作品、映像作品のスク립ト、討論、講義、講演等）の内容や意図を正確に把握し、分析・解釈・評価等を行うことにより、アカデミックな英文をクリティカルに読み解く姿勢を身につけていく。その際、クリティカルな読解力・思考力の育成に配慮した教材を用いて、分析、解釈、評価などのスキルが身につくよう工夫する。 （Critical Readingとは、単に文章を訳し理解する受動的な読解のことではなく、より積極的に文章の内容や意図を吟味し、分析・解釈・評価する読解のことを意味する。）						
(5)授業のキーワード	Critical Reading Critical Thinking						
(6)授業計画	① ガイダンス、クリティカルに読む ② クリティカルに考える ③ 自分の考えや意見を述べる ④ Reading & Thinking 1a, 確認テスト 1-3 ⑤ Reading & Thinking 1b ⑥ Thinking & Discussion 1 ⑦ Reading & Thinking 2a, 確認テスト 4-6 ⑧ Reading & Thinking 2b ⑨ Thinking & Discussion 2 ⑩ Reading & Thinking 3a, 確認テスト 7-9 ⑪ Reading & Thinking 3b ⑫ Thinking & Discussion 3 ⑬ Reading & Thinking 4a, 確認テスト 10-12 ⑭ Reading & Thinking 4b ⑮ Thinking & Discussion 4, 授業アンケート ⑯ 確認テスト 13-15, 期末試験						
(7)成績評価の方法	・ 授業課題：20% ・ 事前・事後課題：10% ・ 確認テスト：20% ・ 期末試験：50% ----- ・ 授業課題：Critical Reading, Critical Thinkingの課題 ・ 事前課題：Dictationの課題 ・ 事後課題：語彙を増やすための課題 ・ 確認テスト：授業内容の習熟度を測るテスト ・ 期末試験：授業内容と同レベルの実力問題 -----						
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」 とみなす。						
(9)事前事後学習の内容	・ この授業は1単位のため、15時間以上の授業時間外学習を必要とします。 ・ eALPSの指示に従って行ってください。各課題の内容は以下の通りです。 ・ 事前課題は、Reding Textを完成させるための【Dictationの課題】です。 ・ 事後課題は、Readingのために【語彙を増やす課題】です。						
(10)履修上の注意	・ この授業は、松本キャンパス以外の再履修生を対象とした「オンデマンド型」のクラスです。 ・ 初回授業開始日（4/13）までに、履修登録を完了させてください。 ・ 第1講の受講期間は、4/13-4/18です。履修登録が遅れた場合も欠席扱いとします。						

(10)履修上の注意	・課題は、基本的に毎週月曜9:00にeALPSに課題アップし、その週の土曜の23:00を締切です。6日間の受講期間全体を通して「出席停止」および「学修の補充の対象とする事由」に該当した場合のみ、学習の補充の対象とします。 ・Thinking & Discussionの授業回にあるグループワーク課題は、提出期限が異なるので注意をしてください。 ・授業の出席は、【課題への取り組み】で確認します。その回のすべての授業課題を終え、締切までに提出した場合のみ出席とみなします。 ・授業コンテンツに動画や音声がある場合は、視聴履歴を確認したうえで、【授業課題の完了】や【授業の出席/欠席】を判断します。 ・この授業の達成目標に到達するためには、課題への意欲的な取り組みが必要です。
(11)質問,相談への対応	メールにて質問や相談に対応する。 メールアドレス：hmegu3@shinshu-u.ac.jp
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外（評点は0点）となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	仲谷都（他3名），CLIL: Discuss the Changing World 3, 978-4-7919-7340-8, 成美堂, 2,750円
【参考書】	適宜、紹介します。